2020年度 全道成果発表会

【2020年度「海洋教育パイオニアスクールプログラム」全道成果発表会開催要項】

1　目　的

「海洋教育パイオニアスクールプログラム」に取り組む実践校の児童生徒による成果発表や意見交換などの交流を通して、海洋教育についての理解を一層深めるとともに、全道の学校に対して、事業成果の普及を図る。

2　主　催

北海道海洋教育推進協議会

3　日　時

令和２年10月23日（金）9:30～15:10

4　会　場

サケのふるさと千歳水族館　２階学習室（千歳市花園２丁目312番地　サーモンパーク内）

5　参加者

(1) 地域展開部門実践校の児童生徒及び引率教員

(2) 北海道海洋教育推進協議会運営指導委員

6　運営者

道教委事務局（高校教育課、義務教育課、関係教育局、道立教育研究所附属理科教育センター）

7　日程及び内容

(1) 日程

9:00　9:20　9:30　9:40　10:05　10:20　10:50　11:00　12:00　13:00　15:00　15:10

受付	写真撮影	開会	発表Ⅰ 日本海地域	発表Ⅱ 太平洋地域	発表Ⅲ ｵﾎｰﾂｸ海地域	休憩	意見交換会	昼食	ｻｲｴﾝｽｶｰ機器体験及び館内見学 運営指導員との研究協議	閉会

(2) 内容

ア　写真撮影（9:20～）

・水族館入口前での全体写真撮影

イ　開会（9:30～）

・挨拶　北海道海洋教育推進協議会長（学校教育局長）　小松　智子

ウ　発表Ⅰ（9:40～10:05）

・日本海地域（古平小学校、古平中学校、小樽水産高校）

エ　発表Ⅱ（10:05～10:20）

・太平洋地域（散布小学校、厚岸翔洋高校）　※散布小学校は録画映像での発表

オ　発表Ⅲ（10:20～10:50）

・オホーツク海地域（羅臼小学校、春松小学校、知床未来中学校、羅臼高校）

カ　意見交換会（11:00～12:00）

・発表に対する質問や今後の展望などについて、参加児童生徒及び運営指導委員による意見交換

キ　運営指導委員との研究協議［同時開催］（13:00～15:00）

・海洋教育の指導方法や今後の方向性について、担当教員と運営指導委員による研究協議

・副読本の進捗状況について（附属理科教育センターより）

ク　サイエンスカー機器体験・館内見学［同時開催］（13:00～15:00）

・児童生徒が北海道立教育研究所附属理科教育センターのサイエンスカーの搭載機器を体験後、館内の施設を見学

ｻｲｴﾝｽｶｰ機器体験　13:00～14:00 館　内　見　学　14:00～15:00 〔運営指導委員や担当教員向けのｻｲｴﾝｽｶｰ機器体験を12:40～13:00に実施予定〕

ケ　閉会（15:00～）

・挨拶　サケのふるさと千歳水族館長　菊池　基弘

8　その他

(1) 会場を公開するとともに、当日の様子はホームページや動画サイト等による配信を行うことから、学校は参加する児童生徒及び保護者に対して、事前に肖像権等の承諾を得るとともに、スライド等で使用する写真、動画等の権利処理を済ませること。

(2) 実践校は、次の内容を網羅したスライド（発表用）とポスター（意見交換会用）を作成すること。

＜スライド＞

・2020年度の取組について（特に共通テーマ「地域の海の課題について」に関する取組が分かるようにすること。）

・これまでの成果と今後の抱負

＜ポスター＞

・模造紙（大）に研究テーマ、学校名、共通テーマに関する取組を含め、主な取組等が分かるように記載すること。

(3) 発表は児童生徒が実施することとし、各部とも研究発表は６分以内とすること。

なお、進行を円滑に行うため、５分30が経過した時点で１度ベルを鳴らし、６分が経過した時点で２度ベルを鳴らして発表者に時間経過を伝えることとする。

(4) 発表資料は、マイクロソフト社パワーポイントを使用すること。また、事前に使用するファイルをCD-R（またはDVD-R）に保存して提出すること。（当日はバージョン2019のパワーポイントを使用）

(5) 上記(4)の提出期限は、令和２年（2020年）10月19日(月）必着とする。

宛先　〒060-8544　札幌市中央区北３条西７丁目 北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導係　大友宛

(6) 後日、「北海道教育庁高校教育課YouTubeチャンネル」において、当日の動画を編集して公開する予定。

北海道教育庁高校教育課YouTubeチャンネル https://m.youtube.com/channel/UC1KHHeJVupV4m5tHsLz8Z9g YouTubeチャンネル「北海道教育庁高校教育課」

9　新型コロナウイルス感染症対策

次のような予防措置を講じますので、御協力をお願いします。

(1) 参加者はマスク着用の上、咳エチケットに気を付け、参加すること。（マスク持参）

(2) 手洗い、手指消毒を徹底して行うこと。（消毒液は会場入口に設置）

(3) 発熱、頭痛等の風邪のような症状があるときは、参加しないこと。

(4) 会場内は適宜、換気を行うとともに、使用したパソコン等の設備については、研究発表が終わるごとに消毒を行う。

【全道成果発表会　児童生徒アンケート集計結果（参加児童生徒13名）】

1　海洋教育パイオニアスクールプログラムに関する取組について

（1）取組によって、海への関心を高めることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
9	4	0	0

（2）取組によって、地域の海の課題を知ることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
11	1	1	0

（3）取組によって、地球の海の課題を知ることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
9	4	0	0

（4）取組によって、地球の海の課題を知ることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
11	2	0	0

2　全道成果発表会について

（1）自分たちの取組をみなさんに伝えることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
8	5	0	0

（2）他校の発表を聞いて、そのほかの地域の海の課題について、知ることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
10	2	1	0

（3）意見交換会を通して、他校との交流を深めることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
9	2	2	0

（4）サイエンスカー機器体験や館内見学によって、海についての関心を高めることができましたか。

とてもできた	まあまあできた	あまりできなかった	全くできなかった
9	3	1	0

３　全道成果発表会に参加した児童生徒の感想

・失敗してしまったけど、うまくいきました。サイエンスカーが面白かったです。
・とても緊張したけれど､古平小学校の授業のことを伝えられて良かったと思います。
・今日の体験を通して、北海道では様々なことを行っていることが分かりました。私たちの内容のほかに違う内容を知ることで、北海道の特産物について詳しく知ることができました。また、このような機会をいただけることを楽しみにしています。ありがとうございました。
・他校の小学生から高校生まで様々な地域の課題や活動を知れてよかったと思う。
・初めて参加してみて、とても楽しかった。他の地域の課題を取組を知ることができた。
・他校の様々な発表を聞けて楽しかったです｡次に行う２年生にもこのことを伝えて、頑張ってもらいたいと思いました。
・意見交流会の時に、あまり質問できなかった。みんなしっかりとした考えをもっていた。もっと自分たちの町の海をよりよくするようなことを考えて実行したい。
・発表会前は、どういうものか凄く不安でしたが、そんなことを考える必要がないくらい楽しかったです。発表以外にも水族館の館内見学などができてすごく楽しかったす。今回は貴重な体験ありがとうございました。
・少し緊張したけれど、しっかりスムーズに発表できた。自分たちの海洋学をしっかり発表できた。
・緊張したけれど、今までで１番いい発表ができました。羅臼だけでなく、他地域の発表を聞いて知らなかったことを知れて、ゴミの問題は全部共通でした。良い経験になって良かったです。
・他の学校、地域で行っている海洋教育を知ることができてとても良かったです。それぞれの学校で行っている海洋教育について交流できて良かったです。
・言葉ではあまり分からなかったことも、意見交換会を行い、詳しく知りたい学校の取組について聞けたので良かったです。
・６年生でやってきたことを他の方々へ伝えられて、達成感があって良かったです。

４　その他（全道成果発表会に参加した教職員の感想）

・発表会に参加すると刺激になる。札幌、東京以外でも参加したい。
・コロナ対応可能な会場を希望します。
・コロナのため、修学旅行の行き先から千歳を外していたので、発表会の参加について、保護者への説明が苦しかったです。今年はZoomを使ったウェブ会議でもよかったのではないでしょうか。もしくは中止でも仕方ないと思います。
・児童の興味・関心が高い水族館で開催してくれて、大変良かったと思います。
・意見交換会、小学生には難しい形だったと思います。
・意見交換会等が生徒にとって大変良い刺激となりました。発表会以外の活動の中でも異校種連携等、生徒同士のつながりが感じられる実践について取り組んでいきたいと思いました。
・研究協議と児童生徒のサイエンスカー体験は、別室の方がよかった。
・指導助言は、客観性のない個人の思いではなく、的を射た具体的な助言がほしい。

【全道成果発表会の様子】

発表①

発表②

意見交換会用ポスター

意見交換会①

意見交換会②

意見交換会③

意見交換会④

研究協議①

研究協議②

研究協議③

サイエンスカー機器体験①

サイエンスカー機器体験②

サイエンスカー機器体験③

館内見学①

館内見学②

全体写真